

新規アルツハイマー病モデル動物作製と治療法開発

日時

2026年1月15日（木） 11:00 - 12:00

開催形式

Zoomウェビナー（聴講登録頂いた方に、URLをセミナー前日までにメールでお知らせします）

聴講登録

<https://forms.gle/DREm1p3jxeevUNbg9>

登録〆切：2026年1月14日（水）17:00

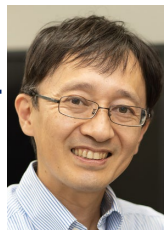


講演

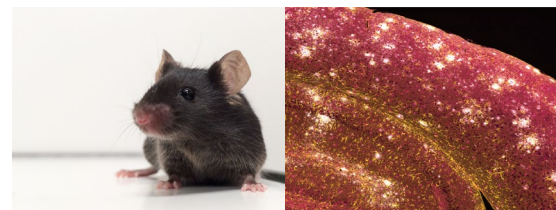
「新規アルツハイマー病モデル動物作製と治療法開発」

笹栗 弘貴

理化学研究所 脳神経科学研究センター
認知症病態連携研究ユニット
ユニットリーダー

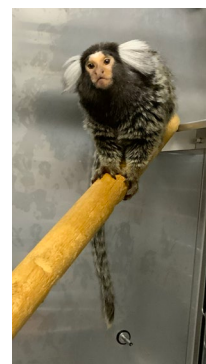


アルツハイマー病（AD）は認知症の最多の原因疾患であり、抗アミロイドβ抗体医薬品の登場により臨床ではパラダイムシフトが起きました。しかしその病態はまだ解明されていない部分が多く、十分に有効な治療ができていたとは言えません。我々はより正確にヒトAD患者の病態を再現したモデル動物の作製と、それらを利用した新規治療法の開発に取り組んでいます。本セミナーではその研究成果をご紹介します。



ADマウス

ADマウス脳病理



ADマーモセット

クロストーク

テーマ：「産学連携の課題」

笹栗 弘貴

理化学研究所 認知症病態連携研究ユニット ユニットリーダー

鈴木 忍

京都大学「医学領域」産学連携推進機構 特定教授

松岡 信也

京都大学「医学領域」産学連携推進機構 特任教授